

第49回 FM八女番組審議委員会 議事録

- 1 開催日 令和2年 6月25日 (木)
書面開催とした為、レポート提出期限日を上記日程とした。
- 2 出席者 レポート提出委員 7名 青木歳男 川口良和 加藤大輔
篠原加代 古庄浩平 吉武信博
酒井裕樹
委員総数 7名
- 3 議題 「がまだすワイド801」 火曜日版
4月28日 (火) 12:30~15:00 放送分
- 4 議事の概要 放送事業者が事前にCDに収録し、資料とともに各委員へ届けていた。
上記の番組について、モニター後の感想をレポートで提出いただいた。
※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、書面にて実施。
- 5 番組内容 地域密着型情報番組
- 6 審議内容
 - ・新型コロナウイルスの影響で、取材などスタジオを飛び出すようなスケール感を生み出すことが出来なかったとはいえ、電話出演で様々なゲストが出演し、バラエティーに富んだ番組になっていた。
 - ・「八女っちゃよかここボイスリレー」では、コロナの影響で福岡市の状況や、住宅ワークの過ごし方などみんなが興味を持ちそうな話題を振ることができていた。
 - ・「八女の飲食店のテイクアウト情報」は、単なる情報ではなく、料理の内容も説明していたので聴いていて面白かった。特定業者への利益がでることへの配慮にも注視する必要があるが、お店にとってもリスナーにとっても良い企画で、今後も継続してもらいたい。
 - ・リスナーから歌詞を募り、曲を制作した、「みんなで作ろう応援ソングプロジェクト」は、今まで築かれたリスナーとの繋がりが活きた感動的な企画だった。歌詞を採用されたリスナーネームの発表をしても良かったかなと思った。コロナ渦で制限されたあらゆる市民生活において、不満や衰退感を巻き返すため、リスナーと協働することで市民への奮起を感じさせる企画だった。
 - ・「がまだせホークス」は開幕スタメン予想で盛り上がり、開幕が待ち遠しくなるような

コーナーだった。

・「図書館大好き」のコーナーは八女市立図書館の感染防止対策や、閉館中にスタッフが頑張っていることがよくわかる内容だった。知らなかった情報もあり、利用してみようと思った人も多かったと思う。

・大喜利コーナーは電話出演者2名とスタジオ出演者2名の計4名でさすがに音声が被ったり、聞き直しが入ったりと少し掛け合いが上手くいかなかったところもあったが、それが逆に楽しかった。お題の回答からちょこちょこ脱線する感じが聴いていて飽きなかった。レベルの高い回答ばかりを期待するのは酷なので、ハードルを上げすぎず、毎回楽しみにされている方へ応えていくことができれば良いと思う。ドリフターズの神経衰弱を知らない世代の4人が推測で話を進めていくところは、知っている人間からするととても面白かった。

・全体を通して、新型コロナウイルス感染症に関する番組の対応は、状況に応じて適切に運営されていた。タレントやゲストなどがすべて電話出演だったが、あまり気にならず、むしろテレビよりもラジオのほうがリモートでの番組に違和感が生まれにくいメディアなのだなと気づかされ、まだまだ企画や番組制作に様々な可能性があるような気がした。マダム陽子さん、カイラさん、ガッキーさんとそれぞれの味があったコーナーで、パーソナリティの息の合ったトークも心地よかった。新型コロナウイルスの影響で苦労されておられる方々は、少しでも情報があることで安心されると思うので、市役所の健康推進課、子育て支援課、商工振興課などの担当職員が出演するコーナーも検討していただきたい。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

9 次回の番組審議委員会

日時 令和2年8月20日（木） 午後4時00分

場所 FM八女 会議室

社名	一般財団法人 FM八女
----	-------------